

## 2. Scope of Claim for a Utility Model Registration

A scissors adapted to make a blade on one side operated, wherein

- a) a pivot (1) in accordance with the present invention is provided in addition to a pivot (2) of the scissors proper;
- b) a non-earthed blade (3) with respect to a floor surface is joined with the side (5) for passing a thumb of a handle, and an earthed blade (7) with respect to the floor surface is made integral with the side for passing other fingers than the thumb of the handle;
- c) a projection (5) is provided on either one of an extended portion in the direction of the blade at the side to pass the thumb of the handle and an extended portion in the direction of the handle of the non-earthed blade with respect to the floor surface, and an elongate opening (4) is provided in the other one, thereby to slide the projection (6) in the elongate opening (4);
- d) the surface position (10) at the bottom on the side to pass the fingers other than the thumb of the handle and the surface position (11) at the bottom of the earthed blade with respect to the floor surface are made horizontal in their heights;
- e) the inclination angle of the surface position (12) of the blade of the earthed blade proper (7) with respect to the floor surface is made acute; and
- f) a taper is provided to have a thickness as shown in cross-sectional view taken along B - B' line.



## 実用新案登録願

昭和51年1月30日

特許庁長官殿

1. 考案の名称 <sup>フリガナ</sup> カタバサドウハナミ 片刃作動鋏。

2. 考案者

<sup>フリガナ</sup> 住所 (居所)

<sup>フリガナ</sup> 氏名

(実用新案登録出願人に同じ)

3. 実用新案登録出願人

郵便番号

3 5 9 □ □

<sup>フリガナ</sup> 住所 (居所)

<sup>トコロサマ</sup> 埼玉県所沢市山口 2678-12

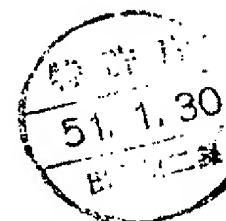
<sup>フリガナ</sup> 氏名 (法人にあっては名称、および代表者の氏名)

カキハラヤスヒロ 柿原靖弘 印

4. 添付書類の目録

- |     |      |   |    |
|-----|------|---|----|
| (1) | 明細書  | 1 | 通  |
| (2) | 図面   | 1 | 通  |
| (3) | 願書副本 | 1 | 通  |
| (4) | (    |   | 通) |

51 003725



方式  
方審



52-102082

## 明 細 書

1. 考案の名称 片刃作動鋏。

2. 実用新案登録請求の範囲

イ 鋏本体の要(2)の他に本考案による要(1)を加える。

ロ 床面に対する非接地刃(3)を、柄の親指を通す側(5)に運動させ、床面に対する接地刃(7)を柄の親指以外の指を通す側と一体化させる。

ハ 柄の親指を通す側の刃の方向の延長部分、及び床面に対する非接地刃の柄の方向の延長部分のどちらか一方に(5)なる突起を出し他の一方に(4)なる長穴を明け、長穴(4)の中で突起(6)をスライドさせる。

ニ 柄の親指以外の指を通す側の底の面位置(10)と床面に対する接地刃の底の面位置(11)の高さを水平にする。

ホ 床面に対する接地刃本体(7)の刃の面位置(12)の傾斜角を鋭化させる。

ヘ 線 B - B' の断面図で図のように肉厚にテーパーをつける。

以上の如く構成された片刃作動鋏。

3. 考案の詳細な説明

この考案は鋏に関するもので、裁鋏で説明する。

要を2点にし、手の動かし方からくる裁断の狂い、数枚の布を重ねて、同時に裁断しようとする時の裁断の狂い等を、より小さくすると共に、右利き左利きに関係なく裁断できる鋏を提供せんとするものである。

従来の裁鋏は、要が一点であるため、鋏を開閉する際に刃先が裁断台の上で安定せず、上下左右に振れ、布上に描いた線のとおりには切ることが極めて困難であり、切り口が鋸刃状になつたり、早く切ろうとすると鋸からそれたり、又接地刃の傾斜が ため、前述のように布を数枚重ねて裁断する場合、最上部の布と最下部の布の誤差が大きい等の弊害があつた。

この考案は、上記のような欠点を解消せんとするものであり、本考案の構造を図面とともに説明する。

第1図は本考案の正面図である。

裁断時に於ける蹠本体の上下左右に振れる欠点を取り除くためには、裁断台に対する接地刃本体(7)と柄の親指以外の指を通す側を一体化させ、その接地刃(7)が裁断台から浮かないで進むようにしなければならない。従つて柄の親指を通す側の動力をそのまま非接地刃(3)に伝導させるように、蹠の要を2点(1)(2)とする。柄の親指を通す側第3図(5)の(9)部分から裁断台に対して下方向に曲げる。其の曲げた先端付近に第4図(6)なる突起を付け、第2図に示す非接地刃(3)の(8)の部分から裁断台に対し上方向に曲げ、次に第4図に示す突起(6)が上下作動可能な長穴をあける。この両者を第1図の要(1)を支点として柄の親指を通す側(5)を作動させる時突起(6)が長穴(4)の中で上下作動を起し要(2)を支点として非接地刃のみが開閉するよう接地刃本体(7)に取り付ける。又切断時に刃の噛み合せを良くするため第6図で示す断面図のように肉厚にテーパーをつけ、右利は勿論左利の人にも容易に裁断可能とならしめたものである。

本案は以上のような構造であるのでこれを使用

せんとする時は、接地刃及び柄の親指以外の指を通す側を同時に裁断台に接地させ親指を通す側のみを動かすだけで非接地刃を作動させれば良いから裁断に未熟な人でも簡単、正確、且つ迅速に作業が出来る。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本考案の正面図

第2図は裁断台に対する非接地刃の正面図

第3図は柄の親指を通す側の正面図

第4図は第3図に示すA—A'線の拡大断面図

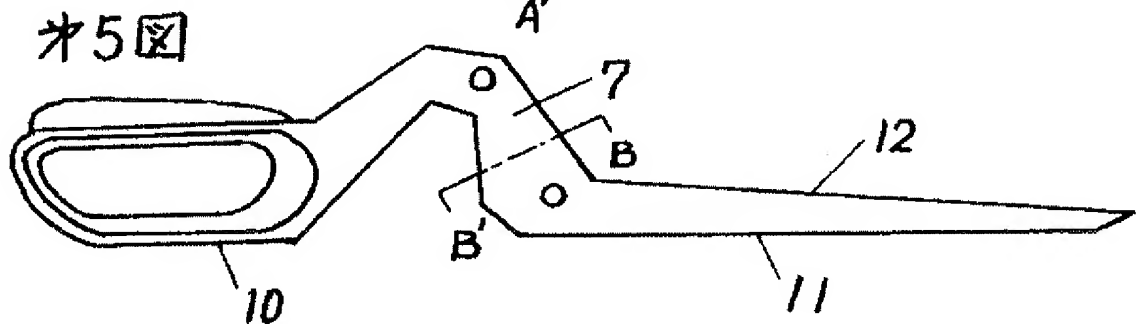
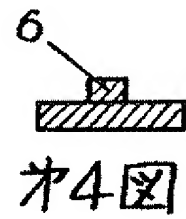
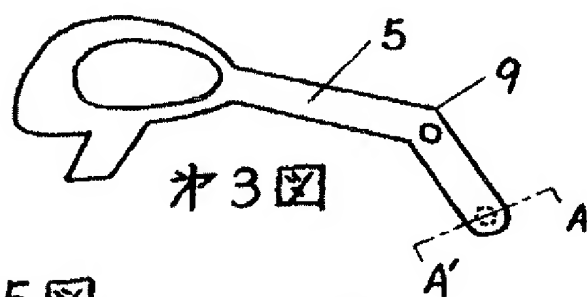
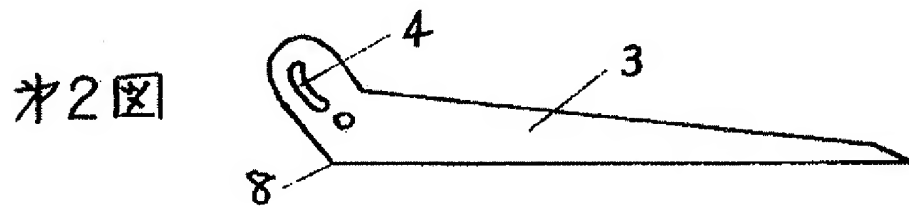
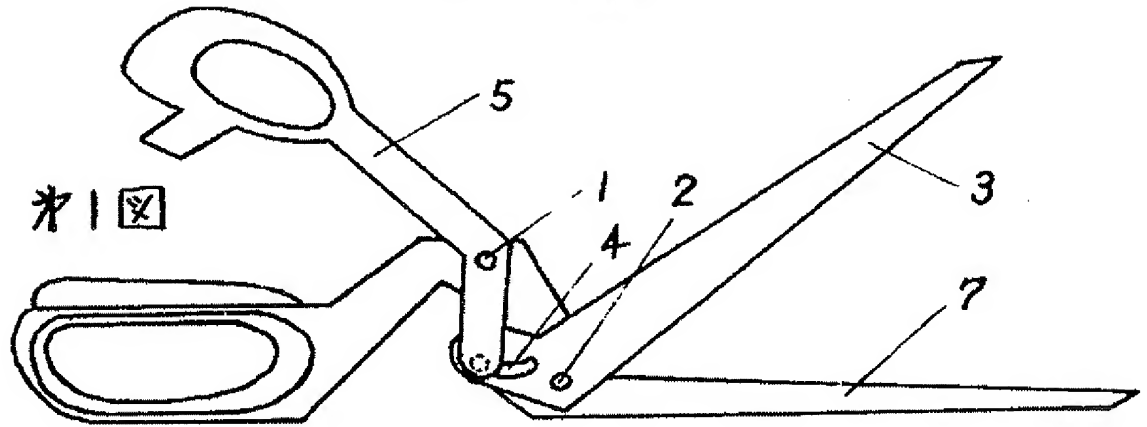
第5図は裁断台に対する接地刃の正面図

第6図は第5図に示すB—B'線の拡大断面図

(1) (2) 要 (3) 非接地刃 (4) 長穴 (5) 柄の親指を通す側 (6) 突起 (7) 接地刃 (8) 非接地刃の曲げ位置 (9) 柄の親指を通す側の曲げ位置 (10) 接地刃の親指以外の指を通す側の底部 (11) 接地刃の底の面位置 (12) 接地刃の刃の面位置

実用新案登録出願人 柿 原 靖 弘

面 図



実用新案登録出願人 柿原靖弘